

I 調査の概要

1. 調査の目的

福岡市に在住する高齢者などの保健福祉に関するニーズ・意識などを把握することにより、「福岡市介護保険事業計画」の策定に必要な基礎的データを収集・分析するとともに、本市の高齢者福祉施策の向上に資することを目的とする。

2. 調査の概要

調査種別		調査対象者	調査票発送日	調査票回収
高齢社会に関する調査	高齢者一般調査	5,000人 平成25年10月時点で福岡市内にお住まいの60歳以上の方から無作為に抽出	平成25年11月20日	平成25年12月24日までに郵送回収
	介護保険在宅サービス利用者調査	5,000人 市内在住の要介護認定者のうち、平成25年8月中に介護保険の在宅サービスを利用した方から無作為に抽出 ※第2号被保険者(40～64歳)含む		
	介護保険在宅サービス未利用者調査	3,000人 市内在住の要介護認定者のうち、平成25年8月中に介護保険の在宅サービスの利用がなかった方から無作為に抽出 ※第2号被保険者(40～64歳)含む		
	介護保険施設等サービス利用者調査	1,500人 平成25年8月中に介護保険施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設)やグループホームを利用された方の中から無作為に抽出 ※第2号被保険者(40～64歳)含む		
介護支援専門員調査		1,193人 福岡市内の居宅介護支援事業所に所属している介護支援専門員の方		

3. 回収結果

調査種別		配布総数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
高齢社会に関する調査	高齢者一般調査	5,000	2,985	59.7%	2,985	59.7%
	介護保険在宅サービス利用者調査	5,000	2,763	55.3%	2,762	55.2%
	介護保険在宅サービス未利用者調査	3,000	1,557	51.9%	1,554	51.8%
	介護保険施設等サービス利用者調査	1,500	1,025	68.3%	975	65.0%
介護支援専門員調査		1,193	805	67.5%	805	67.5%

※回収された調査票から白紙や記入不完全のものを除いた有効票のみを集計に使用している。

4. 資料の見方

- ① 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、合計が 100%にならない場合がある。
- ② 比率は各質問の「回答数」を基数（Nまたはn）として算出（Nまたはn=100%として算出）している。
N=回答全数
n=該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- ③ 複数回答が可能な設問においても、比率算出の基数は「回答数」とし、該当する選択肢に○印をつけた方が全体から見て何%なのかという見方をした。したがって、各選択肢の比率を合計すると 100%を超える場合がある。
- ④ 表・グラフの見出しでの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。
- ⑤ グラフ内の数値の単位はすべて%である。
- ⑥ 高齢者一般調査の中で、経年比較の参考「高齢者のみの世帯」とは、対象者本人が 65 歳以上かつ世帯構成で「ひとり暮らし世帯」、「夫婦二人暮らし世帯（夫婦ともに 65 歳以上）」、「あなたとその他の高齢者（65 歳以上の方）のみの世帯」となっている。